学校番号	３０５

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ(芸文科)	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校改訂版現代文Ｂ」（第一学習社）（第２学年では第一部を扱う）						
副教材等	「新訂総合国語便覧」（第一学習社）・「チャレンジ常用漢字」（第一学習社） 「新成現代文２大学入学共通テスト対策版」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「現代文Ｂ」では、言葉を通して現実を見つめ、主体的に生き、伝え合う力を高めて、これからの社会で生き抜くことができる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することを心がけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的に言葉に関わり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。

2　学習の到達目標

・論理的な文章について、論理の展開、要旨を理解することができる。
・文学的な文章について、人物、情景、心情を的確に捉えることができる。
・文章を通じて、語彙力を豊かにし、様々な表現上の特徴を知り、読解力を身につける。
・授業を通じて、自己を表現するとともに相手の表現を理解することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現により文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、ワークシート等）	・行動の観察（発表等のパフォーマンスの評価）	・記述の確認及び分析（ワークシート、原稿用紙）	・記述の確認及び分析（ワークシート） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認（ノート、ワークシート） ・定期考査 ・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
(前期) 4月	評論の内容を理解するⅠ	教材:「自他の『間あい』」	○			◎	○	a:「間」の持つ意義について、考えを深めようとしている。 d:文章の内容から、筆者の考えを理解している。 e：主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	a.行動の観察、記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査
5月	小説の内容を理解するⅠ	教材:「山月記」	○			◎	○	a:文章の特色に注目することで内容の深い理解を目指そうとしている。 d:人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。 e：漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めている。	a.行動の観察、記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査
6月	評論の内容を理解するⅡ	教材:「日本人の『自然』」	○			◎	○	a:筆者の考える「日本の自然」を「西洋の自然」との対比を通じて考えようとしている。 d:引用事例に注目し、筆者の考えを理解している。 e：主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	a.行動の観察、記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査
7月	短詩系文学を味わう	教材:「詩ー『永訣の朝』ほか」	○	◎			○	a:理解したそれぞれの詩の内容を、朗読や鑑賞文に生かそうとしている。 b:それぞれの詩について、その情景や詩の中心を整理し、説明することができる。 e：形式や韻律など、詩の基礎的な構造を理解している。	a.行動の観察、記述の点検 b.行動の観察 e.定期考査
9月	評論の内容を理解するⅢ	教材:「手の変幻」	○			◎	○	a:言葉による認識の可能性を広げながら読もうとしている。 d:筆者の考えを把握しながら文章を読み取っている。 e：文の照応関係や文章構成などについての理解を深めている。	a.行動の観察、記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査

（後期） 10月	小説の内容を理解するⅡ	教材:「タオル」	○		○	◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 c:文章を読んで感じたことを適切に相手に伝えることができる。 d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。 e：言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	a.行動の観察、記述の点検 c. 記述の確認及び定期考査 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査
11月	評論の内容を理解するⅣ	教材:「働かないアリに意義がある」	○			◎	○	a:筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。 d: アリのコロニーにおける「働かないアリ」の意義について、正しく理解する。安定した組織が持つ特徴について、正しく理解する。 e：文章の要点を押さえながら短くまとめる方法を身につけている	a.行動の観察、記述の点検 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査
12月 1月	小説の内容を理解するⅢ	教材:「こころ」	○		○	◎	○	a:表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 c:文章を読んで感じたことを適切に相手に伝えることができる。 d:情景や会話の描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。 e:作者の思想や作品について、理解を深めている。	a.行動の観察、記述の点検 c. 記述の確認及び定期考査 d.記述の確認及び定期考査 e.定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。